

高浸透形吸水防止コンクリート打放し工法

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セラミクリートガード工法

進化したコンクリート打放し工法 美観の維持とコンクリート保護を高いレベルで実現。

セラミクリートガード工法は、コンクリート面に深く浸透する高浸透性吸水防止材「セラミクリートガード」を用いることで、より高い吸水防止性能と美観の維持を両立させます。

吸水防止層の上には、付着性に優れた水性アクリルシリコン樹脂プライマー、さらに超耐久性クリヤー塗料を使用することで、コンクリート打放し壁面に対して優れた保護性能を発揮します。

また、溶剤タイプのコンクリート打放し保護工法と比べて、臭気も少ないのが特長です。

セラミクリートガード工法 高浸透形吸水防止コンクリート打放し工法

優れた吸水防止性

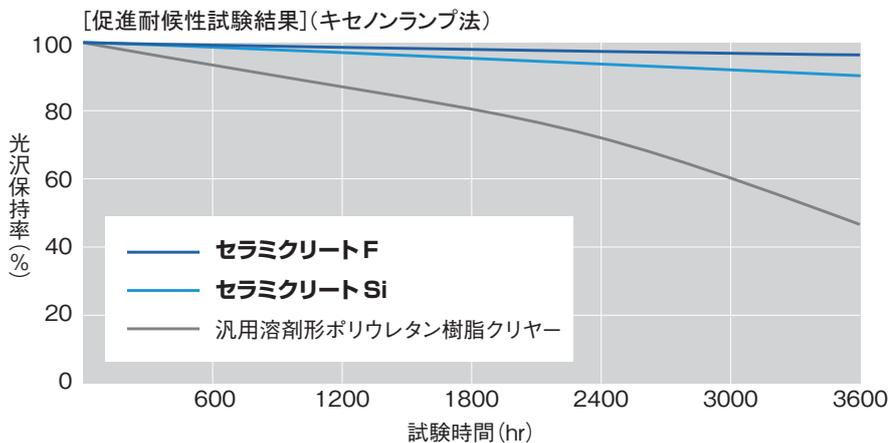
弱溶剤形シラン系浸透性吸水防止材はコンクリート面に深く浸透し、吸水防止層を形成し、その吸水防止性能は長期に亘り持続します。

コンクリート打放し壁面に対する保護性能

弱溶剤形シラン系浸透性吸水防止材と耐久性の高い塗膜により、コンクリートの中性化やエフロレッセンスの発生を抑制します。また、遮塩性にも優れており、内部鉄筋の腐食やコンクリートの塩害を抑制します。

超耐久性

優れた耐久性を有する水性ふっ素樹脂クリヤー（セラミクリートF）、及び水性アクリルシリコン樹脂クリヤー（セラミクリートSi）は紫外線や酸性雨によるコンクリートの劣化を抑制し、長年に亘り打放し仕上げの美観を維持します。



環境配慮

弱溶剤形の浸透性吸水防止材と水性樹脂クリヤーの塗装仕様により臭気も少なく、大気汚染を防ぐ環境配慮型です。

低汚染性

セラミクリートFは超耐久性に加え、低汚染機能を併せ持つため、いつまでもきれいな外観を維持することができます。

[汚染性比較](屋外暴露1年)



セラミクリートF



汎用クリヤー

色見本



- 注) 1. 写真は印刷のため、実物と多少異なる場合があります。特にカラークリアー仕上げは、下地の影響を受けますので、予めご了承ください。
- 注) 2. 下地の状況(色目や吸い込み差、下地補修の方法など)や吹き方、所要量によって色目が大幅に異なる場合があります。必ず試し塗りをを行い、確認した後、本施工に入ってください。
- 注) 3. セラミクリート補修材の色は、下地の色にあわせて、オーカ、アカサビ、クロで色調整が可能です。また、下地の色の影響を大きく受けますので、必ず試し塗りをを行い確認した後、本施工に入ってください。
- 注) 4. 改装工法では、セラミクリートフレッシュ本体の色の影響により、同じ色番号でも上塗り後の色目が異なります。

セラミクリートガード工法(セラミクリートF) 施工事例



<p>物件名: 武蔵野の森総合スポーツプラザ 設 計: 株式会社 日本設計 製 品: セラミクリートガード工法(セラミクリートF)</p>



適用下地

打放しコンクリート、
化粧コンクリートなど

※押出成形セメント板、GRC板、PC部材の塗装については別途お問い合わせください。

荷姿

★セラミクリートガード	16ℓ石油缶、4ℓ缶(62㎡/16ℓ、15㎡/4ℓ)
セラミクリートコート	15kg石油缶、4kg缶(115~150㎡/15kg、30~40㎡/4kg)
セラミクリート補修材	4kg缶
セラミクリートSi(艶有り3分艶)	15kg石油缶、4kg缶(115~150㎡/15kg、30~40㎡/4kg)
☆セラミクリートF(艶有り3分艶)	15.2kgセット(主剤:15kg、硬化剤:0.2kg)(116~152㎡/セット) 4.06kgセット(主剤:4kg、硬化剤:0.06kg)(31~40㎡/セット)
セラミクリートSiカラークリアー(艶有り3分艶)	15kg石油缶、4kg缶(115~150㎡/15kg、30~40㎡/4kg)
☆セラミクリートFカラークリアー(艶有り3分艶)	15.2kgセット(主剤:15kg、硬化剤:0.2kg)(116~152㎡/セット) 4.06kgセット(主剤:4kg、硬化剤:0.06kg)(31~40㎡/セット)

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。(☆印は硬化剤のみ★印に該当)

- 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
 - 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 - 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
- * 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。
詳しくは別途施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

標準施工仕様(新築)／(改装・未塗装の場合)

■ 共通工程

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (h r)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
素地調整	・ 下地はよく乾燥させ、含水率 10%以下、pH10 以下としてください。 ・ 粉化物、エフロレッセンス、離型剤及びその他の付着物は除去してください。また、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。							-	
1	吸水防止処理	セラミクリートガード	既調合	0.20	1~2	0.25以内	16以上	-	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
2	下塗り	セラミクリートコート	100	0.10~0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン
		清 水	0~15	-					
3	※1 (補修塗り)	セラミクリート補修材	100	下地の状況に 応じ適宜	1	-	3以上	-	ウエス エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~10	-					

■ クリヤー仕上げ

セラミクリート Si (アクリルシリコン樹脂系)

(23℃)

4	上塗り	セラミクリート Si	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	5~20	-					

セラミクリート F (ふっ素樹脂系)

(23℃)

4	上塗り	セラミクリート F 主剤	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
		セラミクリート F 硬化剤	1.33						
		清 水	0~15						

■ カラークリヤー仕上げ

セラミクリート Si カラークリヤー (アクリルシリコン樹脂系)

(23℃)

4	※2,3 上塗り	セラミクリート Si カラークリヤー	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	5~20	-					

セラミクリート F カラークリヤー (ふっ素樹脂系)

(23℃)

4	※2,3 上塗り	セラミクリート F カラークリヤー 主剤	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
		セラミクリート F 硬化剤	1.33						
		清 水	0~15						

※1.セラミクリートコート施工後、補修が必要な場合は「セラミクリート補修材」で補修塗りを行ってください。

※2.カラークリヤーを塗装する際、一度に厚塗りすると色調を修正できず色むらになりますのでご注意ください。

※3.色調を濃くする場合は、塗回数を2回とってください。なお、所要量は0.20~0.26kg/m²、工程内間隔時間は3時間以上となります。

施工上の注意

- ▶ 塗装面は粉化物、エフロレッセンス、離型剤などを取り除き、水洗を行った後はコンクリート打放し表面の乾燥養生を十分に取るようにしてください。
- ▶ 離型剤や油脂などが付着している場合、シンナーで拭きとってください。
- ▶ コンクリート打放し面の仕上がりは、できる限り均質・均一が望ましく、巣穴・ジャンカ・ひび割れなどが無いことが理想です。
- ▶ 事前に下地補修がなされている場合、セラミクリートコート施工後、吸込み差を生じ、色違いが発生することがあります。
- ▶ 指定する補修材以外の材料を使用すると、仕上がりが原因になりますので避けてください。
- ▶ エアレススプレーの塗装条件は次の通りです。(吐出量) 400~600ml/分、(パターン幅) 25~30cm
- ▶ 上塗材の希釈率は施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ▶ セラミクリート F、セラミクリート F カラークリヤーの可使時間は5時間(23℃)です。可使時間を超過した材料を使用すると、艶引け、硬化不良、付着不良の原因、また低汚染機能が発揮されない原因となります。
- ▶ 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は、原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により周囲気温を、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ▶ 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ▶ 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- ▶ 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- ▶ 材料は電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ▶ 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ▶ 低温又は高湿度時には乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ▶ シーリング材など、吸い込みのない下地へは施工できません。養生して施工を行ってください。
- ▶ シーリング材の打ち替えが必要な場合は後打ちしてください。
- ▶ 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ▶ 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ▶ ★セラミクリートガードを使用した機器はラッカーシンナーで洗浄してください。十分に洗浄しないまま他の材料を使用すると、ハジキを生じる原因となります。その他の製品に使用した機器は、塗装終了後速やかに水洗いを行ってください。
- ▶ セラミクリートガード工法は、下地の状態により、仕上がりが異なります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ▶ ★セラミクリートガード、セラミクリートコート、セラミクリート Si、セラミクリート F は乾燥後、塗装部と未塗装部の区別がつきにくくなります。塗装は中断することなく連続して1スパンごとに行ってください。
- ▶ 下地処理の詳細については、別途お問い合わせください。
- ▶ 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

<低汚染機能の発揮条件(セラミクリート F)>

- ▶ 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- ▶ 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨が当たらないようにしてください。
- ▶ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻り水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨が当たらない部位などは注意が必要です。
- ▶ 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
- ▶ 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。

ご注意ください

巣穴・ジャンカ・ひび割れがある場合は、予め補修を行ってください。特に、表面上は小さい巣穴でも、中が大きな空洞になっている場合は、セラミクリートガードの効果が発揮されず、降雨などにより巣穴周辺が濡れ色になることがありますので、十分な補修が必要となります。補修方法等については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

